

## 下期の活動内容について

本年度の下期は、光市との協働による新規事業「市域全体での省エネルギー運動」、  
 「再生可能エネルギーセミナー」等、活発に取り組みを進めました。  
 これまでの取組みを下記のとおりご報告します。引き続きご支援をお願いします。

## 1 緑のカーテンコンテストの実施

市との共催で実施している緑のカーテンコンテストを本年も実施しました。今回は、新市誕生10周年記念事業として、二次審査を新たに加え、有竹会長・木村副会長ならびに、光市の市川市長、亀井環境部長が一次審査を通過した作品に対して、現地審査を実施しました。

数多くの工夫が凝らされ、夏を涼しく彩る30点の応募がありました。

- ・家庭部門 10点
- ・事業所部門 9点
- ・学校部門 11点

各部門の最優秀作品 (敬称略)

家庭部門 藤井信男

事業所部門 光市中心身障害者福祉作業所  
 つつじ園

学校部門 光市立三井小学校

家庭部門



事業所部門



学校部門



## 2 ノーマイカー運動

下期は2回にわたり、会員一斉ノーマイカー運動を実施しました。  
 参加者及び効果は次のとおりです。

	事業所	団体	個人	削減距離	削減効果
10/17	5社	1団体	5名	7,131km	1,654kg-ton
12/19	5社	1団体	0名	6,484km	1,504kg-ton



## 3 市域全体での省エネルギー運動

市域全体でCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの削減や環境問題に対する意識の醸成などのエコライフを促進するため、地球温暖化防止月間である12月に「市域全体での省エネルギー運動」の実践を促すとともに、12月第3日曜日を市内一斉に省エネルギーに取り組む日「エコマルチャレンジデー」とし、市と協働で重点的な省エネルギー行動を呼びかけました。

この運動を広げるために、12月19日(金)から21日(日)の3日間、市営バスの運賃を無料としたり、市営バスを利用して里の厨に行った方を対象に「商品券(200円分)」をプレゼントしたりする等のキャンペーンを実施しました。今後も引き続き、省エネ運動の取組みを通じ、身近にできる取組みを進めていきたいと思っております。

## 4 再生可能エネルギーセミナーの実施

太陽光をはじめ風力、水力等の再生可能エネルギーを活用したまちづくりについて考えるセミナーを、市と協働で開催し、多くの会員ならびに市民の方にご参加いただきました。

セミナーは、世界を取り巻くエネルギー事情から、日本の太陽光発電の買取制度まで、幅広いテーマを取り扱った充実したものとなりました。とりわけ、各地域における再生可能エネルギーを取り入れた地域活性化の事例は、会場の関心を集めました。

1回目  
(12/18)



2回目  
(2/13)



1回目 演 題：「私たちの暮らしと再生可能エネルギー」  
 講 師：山口大学大学院副研究科長 福代 和宏 様  
 参加者：30名

2回目 演 題：「再生可能エネルギーの普及に向けて」  
 講 師：中国経済産業局新エネルギー対策室室長補佐 阿比留 彩子 様  
 参加者：34名

※会場は1回目・2回目ともに地域づくり支援センター視聴覚室

それぞれの取組みは協議会HPでも紹介しています。ご関心のある方はアクセスしてみてください。  
<http://www.city.hikari.lg.jp/seisaku/kyougikai.html>